



2014年8月18日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船橋 泰
(電話番号 03-6693-9571)

ヘルスケア分野への事業参入を決定
株式会社サインポストと共同で遺伝子検査ビジネスを開始

当社と株式会社サインポスト(以下、サインポスト)(代表取締役社長：山崎義光、大阪市)は、両社の持つ技術および営業網を相互に活用することにより、共同で一般消費者向け遺伝子検査サービスを9月から開始することとなりましたので、お知らせいたします。

【概要】

当社グループは、創薬トータル支援企業として高品質な各種サービスを展開しており、その一環として研究者向けに、遺伝子解析サービスを提供しております。さらに遺伝子解析技術を病理診断技術と融合させ、個別化医療開発支援へ発展させ成長戦略推進を図っております。一方、サインポストは、大阪大学医学部発のベンチャー企業として2004年の設立以来、120社以上の提携病院協力のもと、遺伝子解析による動脈硬化、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病腎症、糖尿病網膜症それぞれについて、10,000例を超える蓄積データに基づき進展程度や発症リスク判定の遺伝子検査サービスを展開しており、遺伝子検査ビジネスの草分けの企業として知られております。

このたびのサインポストとの協業は、当社の遺伝子解析事業のヘルスケア分野への本格参入を目指して取り組むもので、新規市場での事業拡大を図ります。

また、経済産業省は、昨今消費者向け遺伝子検査ビジネス^{*1}が急速に発展するなかで、「分析の品質の担保」を課題の一つとして掲げています(平成25年度中小企業支援調査「遺伝子検査ビジネスに関する調査」、経済産業省)。当社グループは、既にCAP認証^{*2}施設での遺伝子発現解析の豊富な実績を有することから、高いレベルでの検査結果の報告が提供可能であり、今回の取り組みは先に公表しました「中期経営 Vision」に掲げました基本戦略における先端医療事業部の成長ドライバーを強力に推進するものです。

今後、両社は、幅広い分野での一般消費者向け遺伝子検査ビジネスを展開し、健康維持増進に寄与することを目指します。

なお、本件による2015年3月期連結業績への影響は軽微と見込んでおりますが、今後、当社の連結業績に影響を与えることが明らかとなり次第、速やかにお知らせいたします。

【株式会社サインポスト】

設 立 : 2004年9月

本社所在地 : 大阪市中央区道修町2丁目2番5号

代 表 者 : 代表取締役社長 山崎義光

業 務 内 容 : 遺伝子検査による「動脈硬化/糖尿病合併症リスク判定」および「運動&栄養プログラム」を開発し、サービスを展開しています。さらに多くの疾患について遺伝子検査を用いた事業を展開し、オーダーメイド医療の普及と健康づくりを目指します。

◆ご参考 : ※1 遺伝子検査ビジネス

血液や唾液等の生体試料中の遺伝子を解析し、その結果から疾病罹患リスク(糖尿病、痛風、リウマチなど)、体質(太りやすさ、アルコール代謝、肌質、長寿、髪質など)、能力(知能、音楽、記憶力など)、血縁関係等を判定・評価するビジネス。近年、消費者とインターネット等で検体採取キットおよび検査結果を直接取引する DTC (Direct To Consumer) 遺伝子検査ビジネスが急速に広がっている。

※2 CAP (College of American Pathologists : 米国病理学会) 認証

病理及び臨床検体の質を確認し、ラボの発展と体質改善、維持管理を行うことを目的とした病理医、検査技師で構成される米国病理学会による認定制度。

以上